

〔新任理事の挨拶〕

総会にて新任理事に選出された寺尾です。会計を担当します。この1か月、週1、2回事務所に行って早く慣れようと励んでいます。の中で感じたことは AIFS には出会いがあるなということです。理事や事務局の方々だけでなく、会員の方、ボランティアの方、外国の方などが、ちょこっと事務所に寄ってお話されたり、意見されたり、作品を飾ったり、なかなか面白い。やがては深い絆になるだろう出会いをコロナ禍の中でも大切にしていきたいです。

寺尾 弘

ニュースレターの記事大募集!!

- ・「あすみが丘再発見」
- ・「美しい庭・街角」
- ・「私のペット自慢」



ペットも植物も世界共通の癒し

皆さんの身近な話題をニュースレターに載せてみませんか？掲載時には、頂いた記事を元に、日本語、英語の両方で紹介致します。ホームページに記事例が載っていますので、

どうぞご覧ください。



投稿希望の際はお名前(ニックネームでの掲載可) 電話番号・メールアドレス・住所をお知らせ下さい。

TEL/FAX : 043-294-9551

E-mail : aifs@eastcom.ne.jp

手紙 : AIFS 事務所のポストへ

住所 : 千葉県緑区あすみが丘 4-1-6

エクレール土気 101

事務所オープン日 : 月、木曜 10:00~12:00

祝日、又は台風等、天候によりクローズします。

今年度の活動予定

- * 花いっぱい運動
 - ・土気駅前プランターの花植えと管理 6・11月
 - ・もっとたくさん花いっぱいをめざして5月
- * 暮らしのほんごくらぶ
 - 毎週木曜日 10:00~12:00
 - AIFS 事務所にて
- * 土気サマーフェスティバルの出店 8月
- * 留学生受け入れ支援
 - ・会員家庭でのホームビジット
 - ・土気高校生徒との同世代交流会
- * 海外文化紹介
 - ・世界の暮らしシリーズ
- * ボランティア交流会
- * プラザまつり 11月
- * ニュースレターの発行
- * ホームページ運営

駅前プランターの花苗植え替え、水やり管理をお手伝い頂けるボランティアを募集しています!



※新型コロナウイルス感染状況により 予定は変更される場合があります。

* ニュースレターを置かせて頂いています *

- ・あすみが丘プラザ
- ・PEACE COFFEE
- ・せんだう
- ・リヨンひまわり
- ・CAFÉ Relaxin
- ・ビーンズ工房
- ・Bois d'or(ボウドオル)
- ・NAJA
- ・ロングス薬局
- ・AIFS 事務所

編集後記 : 今年度のニュースレターは、読むことに加え、小さな楽しみに繋がるもの出来たらと思っています。ヒントがありましたら、是非お寄せ下さい♪ 今回の楽しみは、「くるり」のミュージックビデオ、そして「あすみが丘再発見」の記事の中からクイズです。「あすみが丘再発見」の文章後半に出てくる「※2」のあすみ大通り沿いのガソリンスタンドに併設していた焼き立てパンのお店の名前は何だったでしょう？ 答えはこのニュースレターに掲載した5枚の写真のどこかに、小さくカタカナで書いてあります。探してみてください♪



NPO法人 あすみが丘国際交流

Newsletter

NPO 法人あすみが丘国際交流

No.83 2021.4.10 発行 会員数 856 名 (2021.2.14 現在)

住所 〒267-0066 千葉県緑区あすみが丘 4-1-6 エクレール土気 101

TEL/FAX : 043-294-9551 E-mail : aifs@eastcom.ne.jp

Asumigaoka International Friendship Society = AIFS(アイフス)

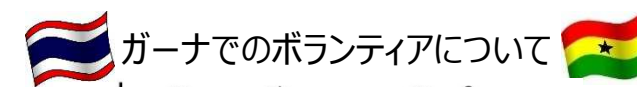
<https://www.npo-aifs.org/>



春色のなごやかな季節が今年も例年より早く訪れました。植物や動物の生命の力を感じるこの頃です。新型コロナウイルス感染症パンデミックから早くも1年以上が経ち、一日も早い収束が待たれますが、粛々と自他を守りながら、可能な形で季節を楽しんで暮らしたいものです。

国際交流の風

AIFS の「暮らしのほんごくらぶ」には、長く日本語の勉強に励んでおられるタイ国出身の掛谷ナンティアさんがいらっしゃいます。日本語習得に加え、タイ語の教師、海外技能実習生の通訳として頑張っておられる方です。今回は、そのご子息、広海さんの貴重な海外ボランティア体験について寄稿して頂きました。記事依頼の際には「英語で書きますか？日本語で書きますか？」との質問があり、日本語でお願いをしましたが、そういえば、ガーナの公用語は英語ですね。若くしてボランティアの為に海外に行くこと、また複数の言語を操ることなど、大変素晴らしいと思ってお知らせさせていただきます。尚、題目についてはタイ語で付記しています。



ガーナでのボランティアについて
เกี่ยวกับการเป็นอาสาสมัครในกานา

掛谷広海

私は高校2年生の夏に、2週間ほどガーナへボランティア活動を行いに行きました。当時の私はガーナでの生活や経済環境に興味があったため、インターネットで出てくる情報だけではなく実際に自分の目で確かめたいと思いガーナへのボランティアを決断しました。

日本からガーナへの飛行時間は乗り換えを含め20時間ほどで、途中で2回タイ空港とドバイ空港で乗り換えを行いました。一日かけて到着できないため、ドバイ空港では空港内にあるホテルで就寝しました。その次の日にガーナに到着し、当日から現地でのボランティア活動に力を注ぎました。私が行ったボランティアは主にマイクロファイナンス(※1)というもので、貧しい人にお金を貸し付ける銀行のようなサービスです。ボランティアの活動内容からマイクロファイナンスを知り、貧しい地域ではどのような工夫がされているのか気になりました。現地ではその他にも学校のトイレの建設作業や教育支援など様々な活動も体験させていただきました。私が活用していた団体は比較的自由度が高く様々な体験をさせていただくことができると思います。

また、ガーナでの生活では日本とは全く異なる価値観や文化に何度も驚かされました。中でも特に食文化が印象的であり、ガーナでは主食としてパンや生野菜など簡易的な食べ物がとても多かったです。日本では食を楽しむために食事をする人が多いですが、ガーナでは栄養補給のために食事をするという印象を持ちました。また、私が口にした多くの食事はとても味が濃く、味付けに使用している食材の違いも感じました。

多くの人はガーナに対して発展途上国で貧しいというイメージを持っていますが、実際にガーナでの日々を過ごしているとほとんどの人が携帯を持ち自由に連絡しあっていました。そのため通信機器の普及は進んでいると気づくことができました。自分で集められる情報だけではなく、実際に体験してみないとわからないことが多く存在すると今回の活動を通して学ぶことができました。この経験から私は自身の視野をより広げることができました。



ほとんど人力での作業



お昼ご飯(パンとジュース)



簡易ベッドと蚊帳だけの宿泊所

(※1)マイクロファイナンスとは、貧困者向けの「小口金融」の総称。主に貧困層の人達の行っている事業などへ小口の融資や貯蓄などを提供し、事業運営に役立ててもらうことで、「経済的自立＝貧困からの脱出」を促すための金融サービス。その先駆的モデルとなったバングラディッシュのグラミン銀行および創設者のムハマド・ユヌスに2006年のノーベル平和賞が与えられている。受賞理由は「底辺からの経済的および社会的発展の創造に対する努力」である。

あすみが丘再発見 No.2 ～ロケ地あすみが丘と思い出～

9丁目Sさん

先日、ふとしたことからあすみが丘がロケ地となっているビデオを久しぶりに観た。音楽バンド“くるり”の「ハイウェイ」という曲のミュージックビデオだ。映像には、今もあるスーパーや、住人なら分かるちょっとした道やパーキングなどが映っている。あすみが丘東はまだ無く、車の往来も少ない。ビデオ自体に特に強いインパクトは無いが、その頃の生活や気持ちを思い出して何だか懐かしい。そういえば千葉県は、映画やドラマのロケ地に使われることが多いらしく、私たちの住むあすみが丘も結構有名なドラマや映画に登場していたのを思い出した。

2016年12月に公開された映画「妖怪ウォッチ 空飛ぶクジラとダブル世界の冒険だニャン」に、駅前の「あすみが丘バースモール」が「SAKURA MALL」と名前を変えて出てくる。実写のまま映ったり、時々アニメ映像になったりしているが画面を通して観る我が町はとてもカラフルで、明るく楽しい雰囲気だ。「千の葉」という県名にふさわしい地域でありながら、なかなか凝ったオシャレな造りの商店街である。そして2001年には、テレビドラマ「HERO」(第1期)の収録でこの町を訪れていた松たか子さんと大塚寧々さんを早朝の駅前で見かけた。白いセダンの後部座席に並んで座っていたお二人の顔は、それはもう小さくて、ピカピカで、私の町なのに自

分が「お上りさん」になったような気がしたものだ。このドラマの第1話冒頭、代議士の邸宅という設定で、あすみが丘の立派な個人宅がロケ地になったことは多くの方が知るところであろう。

自分の町が記憶の中のみにとどまらず、形として残っているのは何だか嬉しい。ただ、一昔前の町を思い出して少し寂しく感じるのは、今は無いお店の存在だ。あすみ大通り沿いのガソリンスタンドに併設していた焼きたてパンの店(※2 編集後記を見て下さい)、小さなデパ地下の様だったプルシェ、町の書店文教堂など…お気に入りの閉店はとても残念だった。駅にほど近い所にあったコンビニも恋しい時がある。ペコちゃんもいなくなった…と何だか少し感傷的になったが…。ともあれ町は今も少しずつ形を変えながら動き、私達の日常を作り、そして新たなロケ隊を迎えている。それは生き物のようで、また自分の一部のようなものである。弱っている所は大切に、今元気に動く所には感謝を伝えよう。そして又、映像の中でキラキラと存在する姿を楽しみにしたい。

“くるり”の「ハイウェイ」視聴は下記のURLをパソコンで検索、又は右のQRコードをスマートフォンのQRコードリーダーでスキャンして下さい。<http://youtu.be/NyvSSVCABdk>



第18回通常総会

2020年度通常総会は、2月14日(日)10時より、あすみが丘プラザ多目的室にて開催されました。今年度は昨年より続く新型コロナウイルスの影響のせい参加者は19名と少なかったものの、委任状及び書面投票は多くの提出を頂き定足数に達することが出来ました。総会開催にご協力下さいました皆様、有難うございました。詳細は下記の通りです。

会員数 856名 定足数 429名
出席者数 470名
(当日出席 19名 委任状 286名 書面投票 165名)

議長 金子理事
書記 坂本理事
議事録署名人 川井会員・田川会員

※上記はそれぞれ、金井理事長が推薦をし、賛成多数で承認されました。

金井理事長がコロナ禍での開催、出席に感謝を述べ、開会宣言をして総会はスタートしました。2020年度の事業報告(議案1号、2号)を各担当理事が議案の内容を説明し、監事が監査結果を報告しました。2021年の事業計画(議案3号、4号)、定款変更(議案第5号)、再任・新任理事(議案第6号)について金井理事長から説明があり、活発な質疑応答の後採決をし、議案第1号から第6号まで賛成多数で承認されました。2021年度は理事6名(新任1名、再任5名)監事1名で運営して参ります。皆様の一層のご理解、ご協力を心よりお願い申し上げます。

理事：金井章男理事長・金子和弘副理事長・小幡敏信・小林芳樹・坂本裕子・寺尾弘
監事：山崎信行

